

「50万V国際送電システムマスタープラン策定のためのコンサルティング」概要

1. 実施期間

平成20年12月～平成21年11月

2. 検討対象

カンボジアを通過するラオス・ベトナム間50万V国際送電システム

3. 業務内容

(1) メコン川流域内50万V国際連系線ルートを選定

メコン川流域内50万V国際送電線を新設するため、ラオスおよびベトナムにおける電力システムの整備計画を見直し、経済性などを再評価するとともに、その評価に基づき、カンボジアを通過するラオス・ベトナム間50万V国際送電システムルートを選定する。

(2) メコン川流域内50万V国際送電線新設の実現可能性検討

メコン川流域内50万V国際送電線の設計、経済性評価、環境・社会面の影響評価、資材等調達資料の作成、工事費用の支出計画、ならびに工事実施計画の策定を実施し、実現可能性を検討する。

4. 契約内容

受託先：アジア開発銀行

受託額：102万5千米ドル

本コンサルティングに拠出される資金の一部は、ラオスに対して従前より積極的に開発支援をしているスウェーデン国際開発協力庁が負担している。